

令和8年度 第2回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
1	①食料品の物価高騰に対する特別加算	北九州市くらし応援商品券(商店街プレミアム付商品券)発行支援事業	①原油高・物価高騰等に直面する生活者及び事業者を支援するため、食料品にも使用可能なプレミアム付き商品券を発行し、家計負担を軽減するとともに、市内消費活動の活性化により地域経済の早期回復を図る。 ②補助交付金 1,000,000千円 ③発行団体 約32団体 補助金 998,860千円 その他 1,140千円(委託料900千円、役務費140千円、報償費60千円、需用費40千円) ④市内の商店街、商工会議所	R8.4	R9.3
2	③物価高騰に伴う子育て世帯支援	保育所等における給食食材価格高騰対応事業	①これまで通りの栄養バランスや量を保った給食の実施のほか、保護者の経済的負担の軽減を図るため、給食の材料費高騰に伴う費用の一部(保育士等職員分を除く)を補助 ②賄材料費、委託料、補助交付金 ③補助基準月額1,900円×入所見込児童数19,818人×12月 ④保育所、地域型保育事業所、認定こども園(保育所型、地方裁量型)、認可外保育施設	R8.4	R9.3
3	③物価高騰に伴う子育て世帯支援	学校給食費の保護者負担軽減事業	①子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、給食の質を確保しつつ、子どもたちが安心して給食を食べることができるよう、市立学校に在籍する児童生徒の給食費を支援する。 ②補助交付金 ③ ・小学校(一般・就学援助・就学奨励費) (5,800円-5,200円)×41,827人×11月=276,058,200円 ① ・小学校、特支小学部(生活保護・要保護児童) (5,800円-4,300円)×560人×11月=9,240,000円 ② ・中学校 (7,500円-5,400円)×21,808人×11月=503,764,800円 ③ ・特支(小・就学奨励費) (5,800円-4,300円)×480人×11月=7,920,000円 ④ ・特支(中・高) (7,000円-5,100円)×677人×11月=14,149,300円 ⑤ ①+②+③+④+⑤=811,132,300円 ④(公財)北九州市学校給食協会	R8.4	R9.3
4	⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業	施設管理等に係る物価高騰対応	①公共施設等について、物価高騰の影響に伴う増額に対応するもの。 ②委託費 ③物価高騰分(441,566千円)=R8見込額(5,879,735千円)-R7予算(5,438,169千円) ④指定管理施設、ごみ処理施設	R8.4	R9.3
5	⑨中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援	中小企業の3EAction応援事業	①電気料金高騰が中小企業の経営を圧迫する現状を踏まえ、その経営安定化を図ることを目的とした施策である。具体的には、太陽光発電設備や省エネ設備等の導入を支援することで、電力消費量の削減を促進し、結果として電気料金の負担軽減を目指すものである。 ②補助交付金、委託費、報償費 ③対象数:15~20件程度、単価:1件あたり200万円程度 ④交付対象者:市内の中小企業や個人事業主、対象施設:市内の本店・支店に設置している省エネ設備等	R8.4	R9.3

令和8年度 第2回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
6	④消費下支え等を通じた生活者支援	防犯灯設置補助事業	①電力等の物価高騰が長引く中、省電力なLED防犯灯の設置促進を図るため、防犯灯を設置する自治会・町内会に対して、設置・建替費用の一部を補助するもの。 ②補助交付金 ③ 1独立灯(LED): 51,500円 × 100灯 = 5,150,000円 2添架灯(LED): 18,400円 × 800灯 = 14,720,000円 3支柱のみ(LED): 33,000円 × 50灯 = 1,650,000円 4独立灯からの移設(既設): 23,000円 × 100灯 = 2,300,000円 5独立灯からの移設(新設): 28,000円 × 50灯 = 1,400,000円 6独立灯の撤去: 8,000円 × 50灯 = 400,000円 小計 25,620千円 7LED化 約24,000円 × 約1,300灯 = 31,600千円 合計 57,220千円 ④地域総括補助金として交付を希望する自治会・町内会	R8.4	R9.3
7	④消費下支え等を通じた生活者支援	市税証明コンビニ交付10円減額対応事業	①市税証明(所得額(課税・非課税)証明書、個人市県民税の納税証明書)のコンビニ手数料を減額するキャンペーン(期間中10円)を実施することにより、物価高騰に直面する生活者を支援するとともに、コンビニ交付の利用促進と窓口混雑緩和を図る。 ②手数料の減額分補填及び減額による増加分の委託手数料 ③証明発行手数料減額に伴う歳入減額 9,407,730円 コンビニ事業者への発行手数料 2,339,000円 ④マイナンバーカードを利用してコンビニで証明書を発行する者	R8.6	R9.3
8	④消費下支え等を通じた生活者支援	証明書コンビニ交付10円減額対応事業	①物価高騰に直面する生活者支援として、証明書のコンビニ交付手数料を10円に減額するキャンペーンを実施することで、コンビニ交付の利用促進と窓口の混雑緩和を図り、区役所DX推進の大きな第一歩とする。コンビニ交付10円減額期間:令和8年6月～令和9年3月に実施予定 ②コンビニ交付手数料の減額にかかる費用 ③(1)コンビニ交付委託手数料(R8.6～R9.3月)【9,363千円】 ・J-LIS委託手数料:1通117円 ・手数料減額によるコンビニ交付通数増加数(10ヶ月):80,025件 ・117円 × 80,025件 = 9,362,925円 (2)発行手数料減額による市負担分(R8.6～R9.3月)【113,548千円】 ・令和8年度手数料見込額(窓口発行件数 + コンビニ交付件数) → 327,258,147円 ・令和8年度手数料見込額(100円減額 × 2ヵ月 + 10円減額 × 10ヶ月) → 213,709,756円 ・差額(手数料減額による市負担額) → 113,548,391円 (3)システム作業費用【2,736千円】 ・システム工程試験作業費用(委託料) 2,508千円 ・J-LIS往復旅費2往復2名分(旅費) 228千円 (4)広報費等【32,294千円】 ・CM作成、SNS広報、チラシ・ポスター作成、全戸配布等 (1)～(4)計: 9,363 + 113,548 + 2,736 + 32,294 = 157,941千円 ④コンビニ交付サービス利用者	R8.6	R9.3

令和8年度 第2回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
9	⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業	物価高騰等に伴う光熱費支援事業(小学校)	①小学校における光熱費について、物価高騰の影響に伴う増額に対応するもの。 ②光熱費増加分 ③物価高騰分(351,000千円)=R8見込額(1,268,102千円)－平常時(コロナ前三か年の実績平均)予算(917,102千円) ④小学校(126校)	R8.4	R9.3
10	⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業	物価高騰等に伴う光熱費支援事業(中学校)	①中学校における光熱費について、物価高騰の影響に伴う増額に対応するもの。 ②光熱費増加分 ③物価高騰分(147,000千円)=R8見込額(442,207千円)－平常時(コロナ前三か年の実績平均)予算(295,207千円) ④中学校(63校)	R8.4	R9.3
11	⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業	物価高騰等に伴う光熱費支援事業(特別支援学校)	①特別支援学校における光熱費について、物価高騰の影響に伴う増額に対応するもの。 ②光熱費増加分 ③物価高騰分(46,000千円)=R8見込額(120,293千円)－平常時(コロナ前三か年の実績平均)予算(74,293千円) ④特別支援学校(8校)	R8.4	R9.3
12	①食料品の物価高騰に対する特別加算	北九州市くらし応援手当	①食料品価格等の物価高騰の負担感が大きい低所得者世帯へ緊急的に給付金を支給することで負担を軽減する。 ②補助交付金及び事務費(人件費、委託料、使用料及び賃借料、その他) ③4.4万世帯×1万円=4.4億円(補助交付金)、1.1億円(事務費) ④令和8年度住民税均等割のみ課税世帯、令和8年度新たな非課税世帯 ※令和7年度北九州市くらし応援手当を受給した世帯を除く	R8.6	R9.3
13	⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業	指定ごみ袋製造経費高騰対応事業	①市民が利用する指定ごみ袋について、製造経費高騰の影響に伴う増額に対応するもの。 ②製造経費 ③指定ごみ袋製造経費高騰分(150,000千円)=R8見込額(288,410千円)－平常時予算(138,410千円) ④指定ごみ袋を製造する業者及び利用する市民	R8.6	R9.3